

でんち

一般 電池工業会
社団法人 BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話 (03) 3434-0261 (代)
ホームページ <https://www.baj.or.jp/>
ご意見・お問い合わせ <https://www.baj.or.jp/contact/>
発行人 清水義正

2023年3月号

第 137 回理事会を開催

2023年3月10日(金)、一般社団法人電池工業会 第137回理事会が機械振興会館で開催された。定款に基づき村尾修会長(株式会社GSユアサ)が議長となり、第1号議案から第5号議案まで審議され、提出された議案はすべて承認可決された。

また、第6号議題から第11号議題について報告され、報告事項は確認された。



1. 審議事項

- (1) 第1号議題 2023年度事業計画(案)の審議
専務理事より、2023年度事業計画(案)が説明され、
原案通り承認可決された。
- (2) 第2号議題 2023年度事業予算(案)の審議
専務理事より、2023年度事業予算(案)が説明され、

原案通り承認可決された。

- (3) 第3号議題 会員入会の件
専務理事より、配布資料に基づき正会員1社、賛助会員
4社の入会申請について説明され、原案通り承認可決され
た。
正会員 京セラ株式会社

賛助会員 株式会社大阪ソーダ

TeraWattTechnology 株式会社

東海東洋アルミ販売株式会社

Enpower Japan 株式会社

(4) 第4号議題 工業会全体規程改定の件

専務理事より、配布資料に基づき、工業会全体規程（委員会委員等の海外出張旅費規程）の改定について説明がされ、原案通り承認可決された。

(5) 第5号議題 工業会全体規程改定の件

専務理事より、配布資料に基づき、工業会全体規程（標準化委員規定）の改定について説明がされ、原案通り承認可決された。

2. 報告事項

(1) 第6号議題（報告事項） 職務執行状況の件

専務理事より、会長、副会長及び専務理事の職務執行状況の報告を行った。

(2) 第7号議題（報告事項） 会員名変更の件

専務理事より以下の通り会員名変更の報告を行った。

ソニーグループ株式会社⇒ソニー株式会社

(3) 第8号議題（報告事項） 会員代表者名変更の件
専務理事より会員代表者名変更（10社）の報告を行った。

(4) 第9号議題（報告事項） 退会の件

専務理事より以下の通り退会の報告を行った。

株式会社 MIYABI

日立金属株式会社

(5) 第10号議題（報告事項） 事務局職員交代の件

専務理事より事務局職員交代（着任2名、帰任1名）の報告を行った。

(6) 第11号議題（報告事項） 事務局長交代の件

専務理事より事務局職員交代の報告を行った。

以上、第6号、第7号、第8号、第9号、第10号議題、第11号議題に関する報告に対し、議長より議場に諮ったところ、報告事項は確認された。

第106回二次電池第2部会を開催

2023年2月10日（金）、黒葛原部会長（株式会社GSユアサ）を議長に第106回二次電池第2部会をWeb会議で開催した。開会に際して、事務局よりBAJ競争法コンプライアンス・ルールを遵守することが確認されたのち、黒葛原部会長ならびに清水専務理事の挨拶があった。続いて前回議事録の確認後、各委員会の代表者より2022年度事業報告、2023年度事業計画の報告を行った。

1. 黒葛原部会長挨拶

・今年度の二次電池第2部会、各委員会活動はWEB会議中心であったが、活動は活発に進められており成果は得られていると考えております。日本が主導する規格は遅延することなく計画通り進捗しており、また、政策提言においては、蓄電池産業戦略の中にBAJで検討してきた内容が織り込まれており、消防法規制緩和も前進しています。地道に活動している委員、事務局の尽力に感謝します。

国のエネルギー基本計画やカーボンニュートラル戦略において、蓄電池の普及拡大が求められており、今後もBAJの活動を通して電池産業の発展にご協力をお願いします。

2023年度事業計画を協議しますので、今年度の実績を踏

まえ、来年度の目標設定と取組内容の要点を整理して報告をお願いします。

2. 清水専務理事挨拶

・2022年度活動はコロナ禍ではありますが、皆様方のご協力でもほぼ予定通り終えることができると思います。

本日、2022年度活動総括と2023年度事業計画をご検討頂きます。3/10（金）理事会で部会長から報告して頂きますが、ポイントを絞って解りやすく、聞きたい点をよく整理して説明するよう対応をお願いします。

3. 各委員会報告

各委員会より、2022年度事業報告、2023年度事業計画が報告された。

- ◆技術委員会
- ◆国際電池規格委員会
- ◆国際電池輸送委員会
- ◆普及促進委員会
- ◆PL 委員会
- ◆再資源化委員会
- ◆広報総合委員会
- ◆国際環境規制総合委員会

4. 2023 年度 部会組織及び予算案

◇部会組織案

2023年度は2022年度と同じ体制で継続することが承認された。

◇予算案

2023 年度予算案が承認された。

5. JBRC 報告

- I. 会員状況報告
- II. 回収状況（2022 年度 3Q 累計実績）報告
- III. 具体的施策実施内容

1. 小型充電式電池の安全な回収・収集運搬業務強化
 - (1) 排出事業者への取り組み強化
 - (2) 一般消費者へのリサイクル意識向上
2. 再資源化業務の持続性強化
3. 管理・運營業務の盤石化
 - ・ISO14001更新審査を受審
 - ・経産省主催「リチウムイオン蓄電池に起因した発煙・発火事故低減による事業者等検討会」、元気ネット主催「リチウムイオン電池トラブル防止に関するマルチステークホルダー検討会合」に参加。

6. その他審議事項

- 1) 蓄電池の普及促進に関する提言書が承認された。

7. 事務局報告

2023 年度二次電池第 2 部会開催日程
 ・6/2(金)、8/28(月)、12/1(金)、2/9(金)

以上

2022 年度第 4 回一次電池部会を開催

2023 年 2 月 15 日（水）、木村部会長（マクセル株式会社）を議長に 2022 年度第 4 回一次電池部会を Web 会議で開催した。開会に際して、木村部会長より BAJ 競争法コンプライアンス・ルールに則り、部会進行する旨の宣言がなされた。清水専務理事の挨拶、続いて前回議事録の確認後、各委員会の代表者による 2022 年度活動報告、2023 年度事業計画の報告を行った。

1. 木村部会長挨拶

部会開催に先立ちまして、挨拶させていただきます。
 来月 3 月 10 日に理事会が開催されます。各専門委員会の予算案を拝見しました。23 年度は海外における対応や各委員会での企業様への訪問を企画されていることを確認しました。
 また、一方で、コロナ禍の部分に関しても、来月からマスク着用無しの議論がされており、コロナ終息に向けて世の中が動き出しているとあらためて感じています。委員会の皆様へのあらためてのお願いとなりますが、マスク無とはいえ、コロナに対しては、引き続きご注意くださいとともに、世の中も新たな時代に突入するものと推測しますので、電池工業会としても、コロナ前の 2019 年度当時の活動に戻して、必要に応じた新たな対応を模索していた

だければと思います。この会議が、電池工業会 競争法コンプライアンス・ルールを順守したものとなるよう、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

2. 清水専務理事の挨拶

皆さん、こんにちは。専務理事の清水です。ご出席ありがとうございます。2022 年度の活動もコロナ禍でありましたが、皆様方のご協力により、ほぼ予定通り終了することができそうです。本日は、2022 年度活動総括と 2023 年度事業計画の最終の検討を頂くこととなります。3 月 10 日の理事会で承認をいただくこととなりますが、ここ近年、コロナで Web 対応を行っていたので、私の方から一括で説明していました。今回は、部会の報告

は部会長から報告をお願いしたいと考えています。より解り易くポイントを絞った説明をお願いできればと思っています。

3. 審議事項

1) 各専門委員会の2022年度の活動報告と2023年度の事業計画について

①ボタン電池回収推進委員会

下記の報告があり、承認された。

* 2022年度 活動総括

- ・実績：協力店数は微減、回収量は横ばいの見通し。
- ・サンプリング調査の結果報告。
- ・水俣条約及び国内法見直しに向けた活動の進捗報告。

* 2023年度 事業計画

- ・協力店微増、回収量微減を計画。
- ・サンプリング調査を継続。
- ・水俣条約及び国内法改正に向けた活動を継続。

②器具委員会

下記の報告があり、承認された。

* BAJ規格「SBA S 1601 携帯電灯」改正について

- ・関係規格であるUL 1576 Ed.2の改正内容を確認後、規格文案を年度内完了。

* 2023年度の活動内容、委員会体制、および、委員会日程について

③資材委員会

下記の報告があり、承認された。

* 主要4材料（亜鉛・リチウム・ニッケル・コバルト）の需給・価格動向の調査結果について

- ・22年の価格動向総括：ロシア・ウクライナ情勢や中国のコロナロックダウンなどの影響で、全体的に不安定な価格の動きを示す。

* コンプライアンス（下請法他）順守の取り組み

- ・下請法違反事例 2件を共有（ともに下請代金の減額にあたる違反）。
- ・公正取引委員会などが原材料高騰や物流費高騰に対する対応を啓発している状況を共有。
- ・独立行政法人JOGMEC様と主要材料に関する意見交換を実施（2022年10月28日）。

BAJからは、一次電池用の資源確保が困難になることへの懸念を訴求。

* 2023年度の活動内容、委員会体制、および、委員会日程について

④消費者委員会

下記の報告があり、承認された。

* 支援物資の供給要請について

- ・2023年1月27日時点で、経産省様からの支援物資供給要請、供給可能数等に関する問い合わせ無し。
- ・2023年2月末時点で供給可能数の定期更新を行い、4月に経産省様に報告予定。

* 2023年度の活動内容、委員会体制、および、委員会日程について

⑤P L委員会

下記の報告があり、承認された。

* 会員会社6社 一次電池 2021年度重要クレーム情報まとめ、BAJホームページへのクレーム情報掲載による使用方法等の啓発強化について

- ・各社からクレーム情報を収集し、一次電池クレーム調査報告としてまとめ、一次電池部会で報告（9月）。

・BAJホームページへの反映は年度内完了予定。

* NITE速報/国民生活センター 事故情報について（2023年1月20日時点）

- ・NITE速報：0件（2021年度：計3件）
- ・国民生活センターの事故情報：9件（2021年度：計9件）

* NITE（製品安全センター）様を訪問。（2022年10月21日）誤使用予防にむけた効果のある啓発活動をテーマに意見交換会を実施。NITE様より、消費者に伝わりやすいコンテンツ作り&情報発信の手法を紹介。

* 2023年度の活動内容、委員会体制、および、委員会日程について

⑥技術委員会

下記の報告があり、承認された。

* 2022年度活動報告

1. JIS規格原案作成

- ・JIS C 8500、8515 2022年8月に改訂版が発行された。

・JIS C 8514 最終原案（成果物）を JSA に提出済み。

・乾電池使用機器の電池室・端子安全設計ガイドブックの改訂の審議を開始。

2. IEC/TC35（一次電池）国際規格原案作成

・IEC 60086-1 次版第 14 版の改正プロジェクト開始が承認された。

・IEC 60086-2 次版改正プロジェクトが開始し、水溶液系と非水溶液系に 2 分割にする事が承認された。

・IEC 60086-3 2023 年初頭に現版の正誤表を発行する事が決定。

・IEC 60086-4 次版に日本提案の誤飲シミュレーション試験、過放電試験条件の変更が反映される予定。

・IEC 60086-5 次版改正の課題を委員会内で審議。

・IEC62281 第 4 版 AMD2 を審議。2023 年 2 月発行予定。

3. コイン形リチウム二次分科会

・IEC61960-4 第 2 版メンテナンス開始。10 月 IEC SC21A 会議で CDV 移行を決議。

* 2023 年度活動計画

1. JIS 規格原案作成

・乾電池使用機器の電池室・端子安全設計ガイドブック改訂作業を推進。

2. IEC/TC35（一次電池）国際規格原案作成

・IEC 60086-1 次版第 14 版の CD 審議予定。

・IEC 60086-2 分割規格 IEC60086-2-1ED1 及び IEC60086-2-2ED1 の CD 審議予定。

・IEC 60086-3 第 5 版の正誤表発行予定。

・IEC 60086-4 第 6 版 CD 審議と日本提案の補強対応を予定。

・IEC 60086-5 次版改正プロジェクト開始の審議を予定。

・IEC62281 次版への情報調査を予定。

3. コイン形リチウム二次分科会

・IEC61960-4 第 2 版プロジェクトの CDV、FDIS 対応を予定。

★その他事項

BAJ ホームページ内の下記 1)、2) の記載に関して、技術委員会で審議し内容修正を行う事について、委員会全社で賛成一致。一次電池部会にて承認を得た。

1)「一次電池のリサイクルに関する記載」2009 年頃に書かれた文面が、現在までのリサイクル技術（電炉法等）の進展や、日本や海外各国の取組み実態と乖離しているとの課題提起を踏まえた対応。

2)「使用推奨期限の記載」改正された JIS C 8500 において IEC60086-1 との整合のために従来の定義が削除された点を踏まえた対応

⑦国際環境規制総合委員会

下記の報告があり、承認された。

* 地域別環境規制アップデート

・欧州：欧州電池規則案で EU 立法機関が暫定合意。

・北米：米メイン州の PFAS 含有製品通知規則案の承認。

・中南米：アルゼンチン、家庭廃棄物の包括的な管理のための運用規則を公布。

・アジア：特記事項なし。

* 2022 年度 活動総括

・冊子「世界の電池環境規制の動向（第 12 版）」書籍版を 6 月発行。

・国際会議は TWG+（日欧米電池専門家会議）に 2 名派遣、ICBR（国際電池リサイクル会議）はオンライン参加に切り替え。

・委員会は 7 回を Web、2 回を対面/Web ハイブリッドで開催。

* 2023 年度 事業計画

・冊子「世界の電池環境規制の動向（第 12 版）」の追補電子版を 6 月に発行。

・国際会議は ICBR に 2 名派遣を計画。

・委員会は Web7 回、対面 2 回（リサイクル工場視察を含む）を計画。

⑧広報総合委員会

下記の報告があり、承認された。

* 事業報告

・キャンペーン/PR 活動：各電池系の重点テーマ訴求を推進

・イベント活動：3 年ぶりに「でんちフェスタ」を 3/18 開催予

定

・情報発信：広報総合委員会開催（年 12 回開催の内、対面開催 2 回で計画）

* 事業計画

・前年度の活動を継続しながらも、効果検証を行い、より効果的な手法、媒体等を検討しより良い啓発活動を計画している。

2) 2023 年度予算

事務局提案の予算案が承認された。

4. 事務局報告

1) 統計データ報告

2022 年度 1Q～3Q（4 月～12 月累計）の一次電池およびリチウム二次コインの販売数量・販売金額の実績動向について報告。

2) 次回開催日程

2023 年 6 月 14 日（水）13:30～ 東京 機械振興会館

以上

2022 年度第 2 回二次電池部会を開催

2023 年 2 月 16 日(木)、澁谷部会長（株式会社 GS ユアサ）を議長に第 2022 年度第 2 回二次電池部会を Web 会議で開催した。開会に際して、事務局より BAJ 競争法コンプライアンス・ルールを遵守し運営することが確認されたのち、澁谷部会長ならびに清水専務理事の挨拶があった。続いて前回議事録の確認後、各委員会の代表者より 2022 年度活動報告および 2023 年度事業計画が報告された。

1. 澁谷部会長挨拶

日頃よりの二次電池部会活動への協力へ感謝いたします。このところ業界は大きな変化を見せています。まずはトヨタ自動車の社長が交代、まだ若い方が就任され、EV への移行を加速させていくのではないかと予測しています。また北欧や中国では EV 化への加速がさらに進んでおります。そのような状況下、鉛電池事業を営む会社としては需給バランスが気になるところであり、国内では 2040 年ぐらいまでは鉛電池は生き残っていくものと考えています。ただし、今後の情勢については注視していく必要があると考えています。

2. 清水専務理事挨拶

2022 年度工業会活動もコロナ下ではあるものの、各位の協力もありほぼ予定通り終了することができそうです。本日は 2022 年度総括と 23 年度事業計画を審議いただき、最終的には 3 月 10 日理事会で承認をもらうことになります。

3. 前回議事録確認

前回議事録は、異議なく承認された。

4-①. 各委員会 22 年度活動報告及び 23 年度事業計画

各委員長より 2022 年度活動実績および 23 年度事業計画の報告がされた。

◆ 広報総合委員会

22 年度活動報告内容、23 年度事業計画が確認され、承認された。

◆ 国際環境規制総合委員会

22 年度活動報告内容、23 年度事業計画が確認され、承認された。

<主な報告>

- ・ 欧州電池規則；EU 立法機関で妥協案が暫定合意された。新法は、EU で販売される全種類の電池（携帯用電池、軽輸送手段用(LMT)電池、始動・照明・点火用(SLI)電池、電気自動車用(EV)電池および産業用電池）に適用され、設計から使用済みまで電池のライフサイクル全体を対象とする。新法では EU 市場に電池を供給する事業者に対するデューデリジェンス要件の導入や、一部電池に対する電池パスポートの義務付け、電池回収目標の引き上げ、新たな最低リサイクル材含有量目標制定などが要求される。その妥協案は以下で公開されている。

https://fead.be/wp-content/uploads/2023/01/Outcome-of-procedure-ST-5469-2023-INIT_en.pdf?mc_cid=81f601ba49&mc_eid=

[63fdb34fc8](#)

- ・ 北米；23年1月19日の会合において米メイン州でPFAS 汚染防止法に基づく含有製品通知義務の詳細を定めた規則案を承認
- ・ アルゼンチン；家庭廃棄物の包括的な管理のための運用規則が公布、使用済みバッテリーなどが特別管理廃棄物として挙げられ、拡大生産者責任やエコデザインガイドラインの履行などが規定された。
- ・ 22年度「世界の電池 環境規制の状況(第12版)」の書籍版予定通り6月発行済み
- ・ 23年度計画として、①「世界の電池環境規則の状況(第12版)」追補電池版を6月発行、②国際環境関連会議(ICBR)に参加、③環境報告分析は継続で実施

◆資材委員会

22年度活動報告内容、23年度事業計画が確認され、承認された。

<主な報告>

- ・ 共有金型管理状況について資料に基づき報告。更新済み4件、更新中1件、仕様検討中1件。
- ・ 23年度についても共有金型管理を継続、6件の更新検討を予定している

◆自動車用鉛電池リサイクル委員会

22年度活動報告内容、23年度事業計画が確認され、承認された。

<主な報告>

- ・ 2022年度 SBRAリサイクルシステムの運用状況報告；資料に基づき報告された。排出事業者登録件数は登録89件、抹消9件で、純増は80件。地域別、業種別で見たと構成比については大きな変化はない。
- ・ 22年度回収量については前年比95%で若干下回る状況
- ・ 22年度委託先監査については、8社実施し不適合事項なく完了
- ・ 23年度活動も22年度を継続する

◆二次電池技術委員会

22年度活動報告内容、23年度事業計画が確認され、承認された。

<主な報告>

- ・ 各活動テーマの進捗状況については資料に基づき報告された(主な内容は以下の進捗)。

- ・ 5年ごとの改正時期となるJIS C 8702(小型制御弁式鉛蓄電池)、D 5301(自動車用鉛蓄電池)、D 5303(電気車用鉛蓄電池)、いずれも改正せずに確認として更新
 - ・ SBA G 0606(蓄電池設備-劣化診断の技術指針)、G 0901(浮動充電用整流装置-保守・取扱いの技術指針)、S 0903(据置蓄電池用キュービクル-一般要求事項及び試験方法)、S 0804(小型電動車用制御弁式鉛蓄電池)、G 0807(電気車用鉛蓄電池・小型電動車用鉛蓄電池-図記号を用いた正しい保守・取扱いの技術指針)、G 0302(制御弁式据置鉛蓄電池キュービクル-熱設計に関する技術指針)、G 0603(蓄電池室-蓄電池設備に関する技術指針) 22年度改正発行完了(対象：22年度10月以降発行分)
- 重要テーマ・トピックスとして、以下3点が報告された。

- ① IEC規格改定・新規制定対応(IEC60095シリーズ)；補機用電池規格策定がワークショップで進行中、10月定期会議に分科会委員を派遣した。23年2月CD発行予定であったが進展なし。本件に関して自動車技術会(JSAE)との情報交換を実施予定で日程調整中。
- ② 電池種類 識別記号表示 (IEC62902)；2022年5月20日の第8回会議で、質問状の内容を踏まえ、ドイツ人がリーダーとなって規格案を再構築し、次回開催は9月予定であったが、1/24時点で開催日程の連絡は来ていない。IECに状況の問合せを1月末実施し、現在回答待ち。
- ③ 欧州新電池規則に関する件

◆P L委員会

22年度活動報告内容、23年度事業計画が確認され、承認された。

<主な報告>

- ・ 2022年度活動実績について資料に基づき報告された。
- ・ 爆発事故防止のための啓発活動として、東京都トラック協会「整備管理者研修資料」へバッテリー爆発防止啓発資料を提供。また自技サ分科会が中心となって「自動車用バッテリーの知識」の改正作業継続中。
- ・ 硫化水素発生事故防止の啓発活動；電池過充電要因の硫化水素発生による死亡事故が発生しており、その

対策検討を開始。表示ガイドラインの改訂（硫化水素に関わる警告を追補版として発行）、RV 協会との協働での啓発活動、日本自動車工業会への硫化水素警告表示に関する説明、などを実施した。

- ・ 始動用鉛電池爆発件数の 22 年度上期は 21 年度同期比で低下傾向（6 件減少）であり、特に問題がないため監視を継続する。爆発要因は従来と同じく液切れであり、引き続きそれに焦点を当てた啓発活動を実施していく。
- ・ 23 年度については、①爆発発防止啓発、②硫化水素事故防止啓発、③安全確保のための表示ガイドライン改正を中心に活動を行う。

◆産電リサイクル委員会

22 年度活動報告内容、23 年度事業計画が確認され、承認された。

<主な報告>

- ・ 広域認定変更申請については、22 年変更分について環境省地方事務所に了解を得られた資料を本省へ提出済み、審査中。
- ・ アルカリ電池の広域処理先であった東邦亜鉛が行政処分により除外されたため代替検討していたが、新たな処理先としてエコシステム秋田(株)を登録し完了した。
- ・ 昭和電工マテリアルズの蓄電デバイスシステム事業の新会社（エナジーウィズ(EW)社）への分割(12/1)に対応するための、広域認定申請の進め方について環境省に問い合わせ、対応方針を決定
- ・ 22 年度で残された課題として、①広域認定による日立系電池の回収を継続的に実施できるよう環境省と調整（新規申請）、②広域対象を「製造」から「製造・販売」に変更（実態に合わせる）、③松下電器製産業用アルカリ蓄電池、海外製の鉛蓄電池回収への対象拡大
- ・ 23 年計画として、22 年度活動を継承し広域認定の維持、回収量の集計と関連省への報告等は実施するが、特に EW 社事業継承に伴う新規申請については広域回収実務への影響が出ないように注意して進めていく

◆環境委員会

22 年度活動報告内容、23 年度事業計画が確認され、承認された。

<主な報告>

- ・ 欧州電池規則関連情報；理事会と欧州議会とが暫定合意に達しており、妥協案が出された。資料取りまとめ後に出た情報として、本妥協案に委員会も合意したとのこと、この合意案がそのまま採用される可能性が高まったとのこと。資料に沿って合意案で要求される内容が紹介された。
- ・ 欧州 ELV 指令関連情報；附属書 II（適用除外リスト）に記載されている自動車始動用鉛蓄電池「12V 系鉛蓄電池以外の除外を取り消す」法案が提出されており、これが採択されると始動用鉛電池としては 12V 系以外が上市できなくなる。
- ・ 23 年度活動計画として、欧州電池規則を含めた鉛電池へ影響のある国内外の環境規制情報の収集および対応を引き続き継続していく

<事務局補足>

- ・ 資料では 3 者合意案は公開されていないとなっているが、最近公開されており、国際環境総合委員会欧州部分の最下部に URL が貼られているので参照をお願いします。

4-②. 審議事項

- ・ 2023 年度 事業計画案、予算要求表審議；2022 年度事業報告、2023 年度事業計画案および 2023 年度予算案について事務局より報告された。23 年度計画についてはコロナの状況が収まり海外出張等が可能となることを前提として、web 会議の活用を含めたとの説明がなされた。部会委員により、異議なく承認された。
- ・ 部会長改選；GY 澁谷部会長の任期満了に伴い、現副部会長である FB 鈴木氏に部会長に副部会長は EW 遠山氏に努めていただくよう推薦し、異議なく承認された。

5. 事務局報告・連絡、その他

- ・ 次回開催予定（確定）
2023 年 10 月 12 日（木） 13：30～ 東京 機械振興会館 会議室 or web 会議
- ・ 次々回開催予定（予定）
2024 年 2 月 15 日（木） 13：30～ 東京 機械振興会館（仮決め）

以上

2023 年度蓄電池設備整備資格者講習のご案内

電池工業会では、蓄電池設備に関する専門的な知識・技能を習得し、蓄電池設備整備資格者の資格を取得するための講習を行います。2023 年度は以下の日程で 開催します。

実施地	実施月日	講習会場	申請書提出先	申請期間 (申請方法)
北海道	2023年 6月22日(木) 6月23日(金)	北海道建設会館 〒060-0004 札幌市中央区北四条西3-1	一般社団法人北海道消防設備協会 〒060-0004 札幌市中央区北四条西5-1-4 大樹生命札幌共同ビル3階 TEL 011-205-5951	5月8日(月) ～ 5月19日(金) (郵送・必着)
宮城県	7月20日(木) 7月21日(金)	ハーネル仙台 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-12-7	一般社団法人宮城県消防設備協会 〒980-0014 仙台市青葉区本町3-5-22 宮城県管工事会館2階 TEL 022-223-3650	5月29日(月) ～ 6月9日(金) (郵送・必着)
東京都①	7月26日(水) 7月27日(木)	連合会館 〒101-0062 千代田区神田駿河台3-2-11 ①②で会場が異なります	一般社団法人電池工業会 〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館3階 TEL 03-3434-0261	5月8日(月) ～ 5月15日(月) (郵送・必着)
東京都②	8月9日(水) 8月10日(木)	機械振興会館 〒105-0011 港区芝公園3-5-8 ①②で会場が異なります	一般社団法人電池工業会 〒105-0011 港区芝公園3-5-8 機械振興会館3階 TEL 03-3434-0261	6月12日(月) ～ 6月19日(月) (郵送・必着)
大阪府	8月31日(木) 9月1日(金)	たかつガーデン (大阪府教育会館) 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11	一般財団法人大阪府消防防災協会 〒540-0008 大阪市中央区大手前1-4-12 大阪天満橋ビル7階704号室 TEL 06-6943-7654	7月10日(月) ～ 7月20日(木) (郵送・必着)
愛知県	9月7日(木) 9月8日(金)	ウィルあいち (愛知県女性総合センター) 〒461-0016 名古屋市東区上野杉町1 番地	一般財団法人愛知県消防設備安全協会 〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1 愛知県東大手庁舎6階 TEL 052-962-0707	7月3日(月) ～ 7月7日(金) (郵送・必着)
愛媛県	10月5日(木) 10月6日(金)	松山市総合コミュニティセンタ ー 〒790-0012 松山市湊町7-5	一般財団法人愛媛県消防設備協会 〒790-0811 松山市本町7-2 愛媛県本町ビル2階 TEL 089-996-7141	8月17日(木) ～ 8月31日(木) (郵送・必着)
香川県	10月12日 (木) 10月13日 (金)	香川県土木建設会館 〒760-0067 高松市松福町2-15-24	一般社団法人香川県消防設備協会 〒760-0018 高松市天神前5-30 高松市上下水道工事業協同組合ビル内 TEL 087-833-4797	8月24日(木) ～ 9月8日(金) (郵送・必着)
鹿児島県	11月16日 (木) 11月17日 (金)	かごしま国際交流センター 〒892-0846 鹿児島市加治屋町19-18	一般社団法人鹿児島県消防設備安全協会 〒892-0854 鹿児島市長田町1-16 NSビル3階 TEL 099-226-1780	9月8日(金) ～ 9月22日(金) (郵送・必着)
神奈川県	11月29日 (水) 11月30日 (木)	神奈川県電気工事会館 〒231-0034 横浜市中区三吉町4-1	一般財団法人神奈川県消防設備安全協会 〒231-0023 横浜市中区山下町一番地 シルクセンター4階408号室 TEL 045-201-1908	9月4日(月) ～ 9月8日(金) (郵送・必着)
沖縄県	12月14日 (木) 12月15日 (金)	P'sスクエア 〒901-2101 浦添市西原2-4-1	一般社団法人沖縄県消防設備協会 〒900-0012 那覇市泊3-1-26 TEL 098-943-5574	10月16日 (月) ～ 10月27日 (金) (郵送・必着)
福岡県	2024年 1月25日(木) 1月26日(金)	福岡県自治会館 〒812-0044 福岡市博多区千代4-1-27	一般財団法人福岡県消防設備安全協会 〒810-0073 福岡市中央区舞鶴3-1-10 オフィスニューガイアセレス赤坂門No.19 5 階 TEL 092-722-1265	12月1日(金) ～ 12月15日 (金) (郵送・必着)

2023年2月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
議 特 、別 他 会	15日(水)	蓄電池設備認定委員会	蓄電池設備の資格登録の審査、型式認定の審査
	17日(金)	広報総合委員会	2023年度 事業計画審議、でんちフェスタ開催マニュアル審議
二 次 電 池 部 会	3日(金)	自動車鉛分科会	IEC 60095-8 補機用鉛蓄電池改正審議
	13日(月)	技術サービス分科会	TS-004冊子改定審議
	15日(水)	小形鉛分科会	SBA S 0406 鉛蓄電池用AGMセパレータ 改正審議
	16日(木)	二次電池部会	各委員会からの報告、23年度事業計画審議
	17日(金)	充電器分科会	JISC4402改正審議、SBAS0904改正審議、「蓄電池設備に関する認定の手引き」の見直し検討
	17日(金)	用語分科会	SBA規格票の作成指針 改正審議 他
	20日(月)	産電リサイクル委員会、広域認定分科会	広域認定申請状況確認、新規申請方法審議他
	21日(火)	据置鉛分科会	SBA G 0303 ベント形据置鉛蓄電池-保守取扱いの技術指針改正審議
	22日(水)	PL委員会	国土交通省整備課へ22年度上期電池爆発件数報告
二 次 電 池 第 2 部 会	1日(水)	技術委員会	技術全般に係る審議事項への対応
	1日(水)	法規WG	蓄電池の規制適正化検討
	6日(月)	リユース規格分科会-リユース・リサイクルTF合同会議	リユース規格に関する審議
	9日(木)	産業用ニッケル水素分科会	IEC規格検討
	10日(金)	二次電池第2部会	各委員会からの報告および審議
	13日(月)	再資源化委員会	蓄電池再資源化に関する対応
	14日(火)	リチウム二次分科会	JIS C 62133-2 正誤票検討
	15日(水)	普及促進委員会	蓄電池システムの普及促進に関する提言検討
	15日(水)	定置用LIB普及強化WG	蓄電池システムの普及強化に向けた戦略実現検討
	17日(金)	国際電池規格委員会	IEC規格 ANSI規格等の審議対応
	21日(火)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応
	21日(火)	据置LIB分科会	JIS C 8715-2改正原案作成分科会、IEC/ISO情報共有
	21日(火)	法規WG	蓄電池の規制適正化検討
	22日(水)	ニカドニッケル水素分科会	ニカド・ニッケル水素電池 性能規格の改訂審議
	27日(月)	CFP規格分科会	産業用LIBのカーボンフットプリント規格対応
27日(月)	非駆動用車載LIB分科会	非駆動用LIBのIEC規格策定	
28日(火)	小型全固体LIB輸送WG	小型全固体LIBの輸送規制に関する検討	
一 次 電 池 部 会	1日(水)	規格委員会	IEC60086-1、2、4、62281審議
	2日(木)	規格委員会	IEC60086-4、MT17、BAJガイドブック更新作業
			BAJ HP 使用推奨期限の記載修正審議
	3日(金)	技術委員会	国際幹事、JIS改正、IEC関連、コイン形リチウム二次分科会関連報告
15日(水)	一次電池部会	各委員会からの報告、23年度事業計画審議	

12月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2022年12月）

単位：数量一千個、金額一百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

「その他の乾電池」を削除する。（2013年経済産業省機械統計より）

2017年9月より経済産業省機械統計のアルカリ乾電池「単三」「単四」は公開されていません。

2022年1月より経済産業省の機械統計は「その他のアルカリマンガン乾電池」は「アルカリ乾電池計」に統合されました。

2022年7月より経済産業省の機械統計は「アルカリ蓄電池(ニッケル・水素電池)」「その他のアルカリ蓄電池」は「アルカリ蓄電池計」に統合されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	406,493	128,973	93%	118%	4,479,903	1,241,738	96%	114%
一次電池計	251,135	10,932	97%	111%	2,824,636	107,713	99%	105%
酸化銀電池	61,180	1,511	112%	141%	770,443	17,491	112%	130%
アルカリ乾電池計	127,215	5,778	101%	107%	1,248,993	50,263	98%	102%
単 三	-	-	-	-	-	-	-	-
単 四	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウム電池	62,740	3,643	82%	109%	805,200	39,959	90%	102%
二次電池計	155,358	118,041	86%	118%	1,655,267	1,134,025	91%	115%
鉛電池計	2,902	20,763	97%	107%	28,923	197,396	97%	105%
自動車用	2,303	14,551	96%	107%	22,106	130,658	97%	107%
その他の鉛蓄電池	599	6,212	102%	108%	6,817	66,738	96%	101%
アルカリ蓄電池計	37,955	23,415	79%	96%	434,573	258,398	85%	111%
ニッケル水素	-	-	-	-	-	-	-	-
その他のアルカリ蓄電池	-	-	-	-	-	-	-	-
リチウムイオン蓄電池計	114,501	73,863	88%	132%	1,191,771	678,231	94%	119%
車載用	90,628	61,307	91%	141%	898,393	543,419	100%	128%
その他	23,873	12,556	78%	100%	293,378	134,812	78%	94%

12月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2022年12月）

単位：数量一千個、金額一百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸出）	221,654	73,497	94%	116%	2,556,846	748,153	96%	114%
一次電池計	111,262	3,637	96%	111%	1,313,894	39,377	101%	100%
マンガン	8	0	-	-	2,109	50	-	-
アルカリ	12,999	251	117%	134%	171,516	3,224	101%	127%
酸化銀	57,127	1,377	112%	160%	605,305	12,887	110%	138%
リチウム	41,128	2,002	76%	103%	534,961	21,505	92%	102%
空気亜鉛	0	0	-	-	0	0	0%	0%
その他の一次	0	6	0%	2%	2	1,710	44%	27%
二次電池計	110,393	69,861	92%	116%	1,242,952	708,776	91%	115%
鉛蓄電池	125	1,042	76%	84%	1,705	13,262	91%	101%
ニカド	185	54	57%	72%	3,288	894	59%	78%
ニッケル鉄	0	0	0%	0%	0	0	0%	0%
ニッケル水素	11,284	12,882	78%	116%	122,581	129,137	70%	118%
リチウムイオン	95,453	42,498	101%	119%	1,007,171	412,897	96%	112%
その他の二次	3,345	13,384	31%	111%	108,208	152,585	77%	127%
全電池合計（輸入）	139,293	34,648	103%	126%	1,717,458	419,954	112%	152%
一次電池計	130,090	2,572	103%	125%	1,614,460	29,292	113%	132%
マンガン	8,282	141	118%	159%	107,417	1,610	77%	106%
アルカリボタン	3,683	36	118%	133%	33,127	314	135%	168%
アルカリその他	104,798	1,716	109%	136%	1,280,645	18,488	119%	137%
酸化銀	136	7	66%	102%	2,163	87	98%	112%
リチウム	10,606	579	79%	106%	139,160	7,119	107%	129%
空気亜鉛	2,575	67	40%	77%	51,880	1,204	87%	117%
その他の一次	10	25	502%	81%	67	470	141%	126%
二次電池計	9,203	32,076	95%	126%	102,998	390,662	105%	154%
鉛蓄電池	781	4,507	98%	111%	9,511	52,380	102%	114%
ニカド	15	205	28%	139%	788	2,067	113%	96%
ニッケル鉄	0	0	-	-	0	0	0%	0%
ニッケル水素	2,872	657	125%	137%	26,591	6,205	105%	123%
リチウムイオン	5,490	24,661	84%	129%	65,599	300,856	106%	162%
その他の二次	44	2,047	65%	126%	510	29,154	90%	193%